

枚方市留守家庭児童会室個別施設計画（案）

令和8年●月 策定
枚方市教育委員会 学校教育部 放課後子ども課

【目次】

第1章 計画の背景と目的

1. 計画の背景
2. 計画の目的
3. 計画の位置付け・関連計画との関係
4. 計画期間
5. これまでの経過

第2章 留守家庭児童会室を取り巻く状況

1. 児童数・入室児童数の推移
2. 共働き世帯の増加と利用ニーズ、国基準と施設の現状
3. 学校施設活用を巡る課題

第3章 個別施設計画策定にあたって整備の考え方

第4章 今後の進め方

1. 可能性調査の実施
2. 関係部署との連携

第5章 整備対象施設と優先順位

第1章 計画の背景と目的

1. 計画の背景

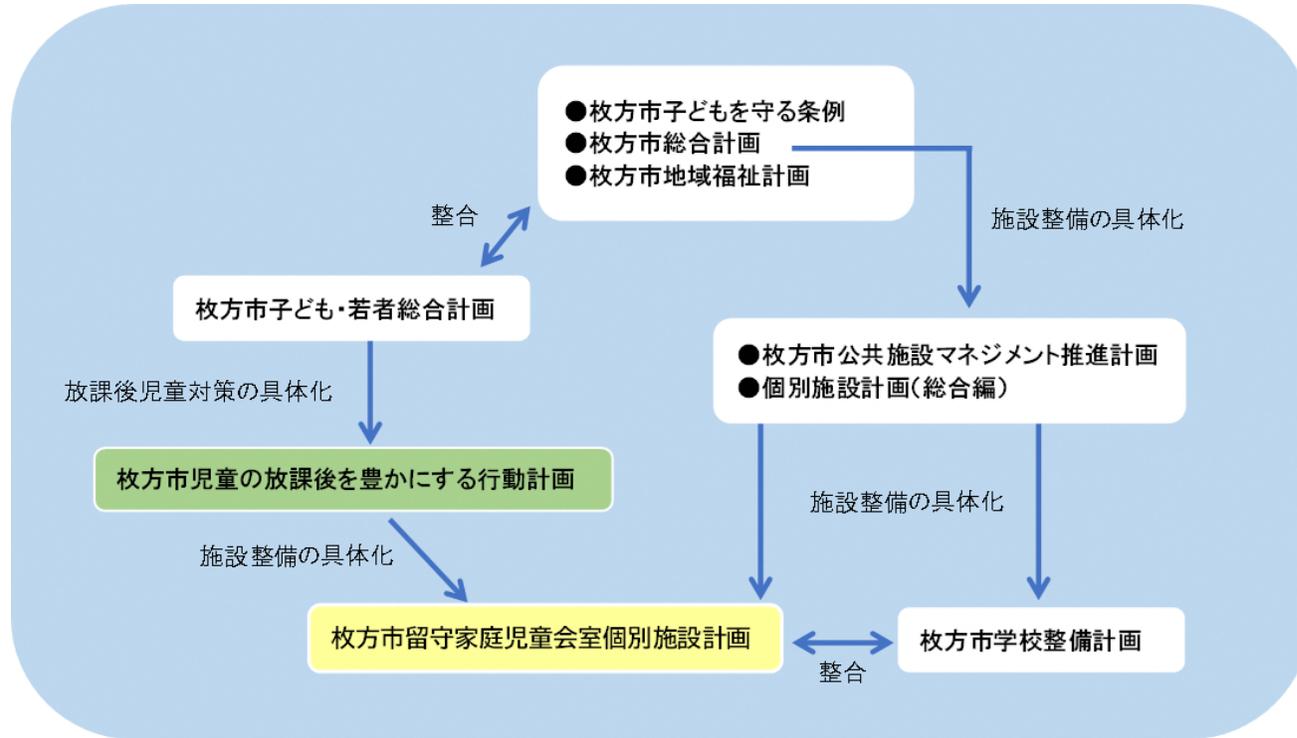
共働き世帯の増加や保護者の就労形態の多様化により、児童数は減少傾向にあるものの留守家庭児童会室の利用需要は高止まりとなっている。一方、一部の地域では、国の推奨基準を超える受け入れによる過密化や、建築後年数の経過による老朽化が進行している。また、35人学級や支援教育等の需要増加により、学校施設を留守家庭児童会室として継続的に活用することが困難である。

2. 計画の目的

本計画は、こうした課題を踏まえ、児童が安全で快適に過ごせる放課後の生活環境を将来的にわたり確保することを目的とし、留守家庭児童会室の整備の方向性と優先順位を明らかにするもの。

3. 計画の位置付け・関連計画との関係

本計画は、子ども・若者総合計画や公共施設マネジメント推進計画等の関連計画と整合性を図りつつ、留守家庭児童会室に特化した個別施設計画とする。



4. 計画期間

施設整備関連計画の一本化を図るため、計画期間は、枚方市学校整備計画の期間とあわせ、令和8年度から令和11年度の4年間とする。

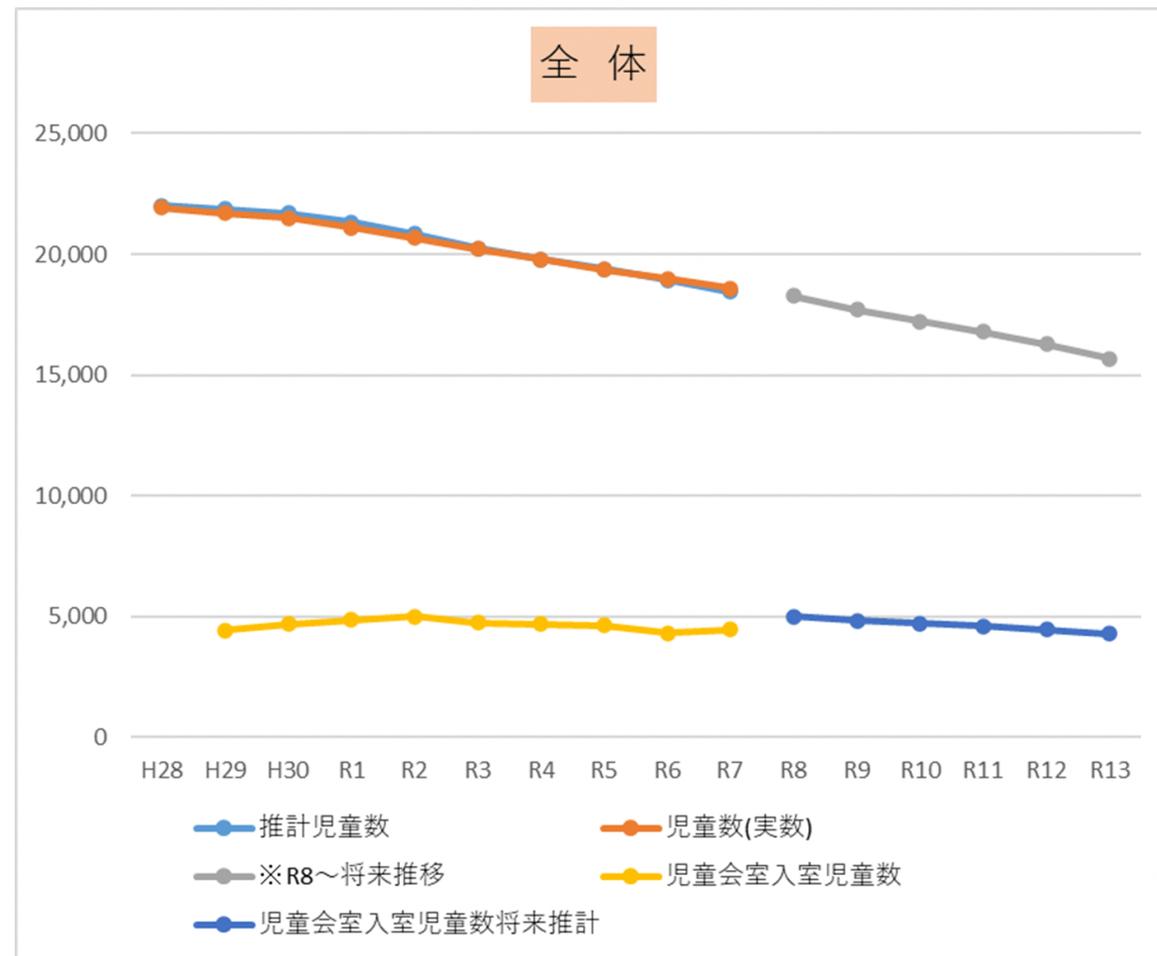
5. これまでの経過

平成30年	・ 学校施設を有効活用する方針に変更
令和2年	・ 留守家庭児童会室の入室児童の増加 （H30：4,706人→R2：5,000人）
令和3年	・ 35人学級の段階的な導入や支援教育学級の増加により教室の使用が増え学校施設の有効活用が進まない状況
令和5年	・ 総合型放課後事業の実施 。放課後オープンスクエアが始まり放課後の居場所の選択肢が増えたことにより、 留守家庭児童会室の待機児童は一定減少 。それでも フルタイム勤務の増加等 により 保育ニーズは増加 し、全児童数に対する 入室率は高止まり 。放課後オープンスクエアの利用児童は増加
令和6年	・ 教室の利用が多様化しており、その活用については、学校ごとの判断に委ねられている部分 が大きい状況にある。このため、学校間での運用の差を抑え、より円滑でわかりやすい活用 を図る観点から、教室活用に関する統一的な考え方の整理に着手 ・ 教室の活用基準を作成 ・ 基準に照らし、今後の児童数の推移による学級数と支援教育学級数を精査 ・ 男女別トイレ未整備 の児童会室を精査し、 改修を決定（R8） 、 洋式化 については、 修繕対応（R7）
令和7年	・ 留守家庭児童会室の老朽化や過密化 の状況を踏まえ、今後の 利用児童数の推移や地域の実情 を検証し、 各施設の整備の優先順位と方向性 を整理した「 個別施設計画 」を令和7年度末に 策定

第2章 留守家庭児童会室を取り巻く状況

1. 児童数・入室児童数の推移

市内の児童数は減少傾向にあるものの、留守家庭児童会室の入室児童数は高止まり。地域によって差があり、増加傾向にある施設も。今後も一定の需要が見込まれる。



2. 共働き世帯の増加と利用ニーズ、国基準と施設の現状

社会環境の変化

- ・ 共働き世帯の増加
- ・ 保護者の勤務形態の多様化
- ・ 低学年を中心とした利用集中

現場の実態

- ・ 全児童数は減少傾向
- ・ 利用児童数は高止まり・増加

□ 国の推奨基準(おおむね40人/班、1.65m²/人)を超過する事例が常態化

入室率	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
平成29年	39.7%	33.6%	26.3%	17.0%	14.7%	0.1%	20.2%
令和7年	<u>48.6%</u>	<u>37.7%</u>	28.0%	17.6%	9.6%	2.9%	23.3%

過密化がもたらす影響

安全面

- ・ 事故・けがの増加
- ・ 感染症拡大のリスク
- ・ 避難時の危険性

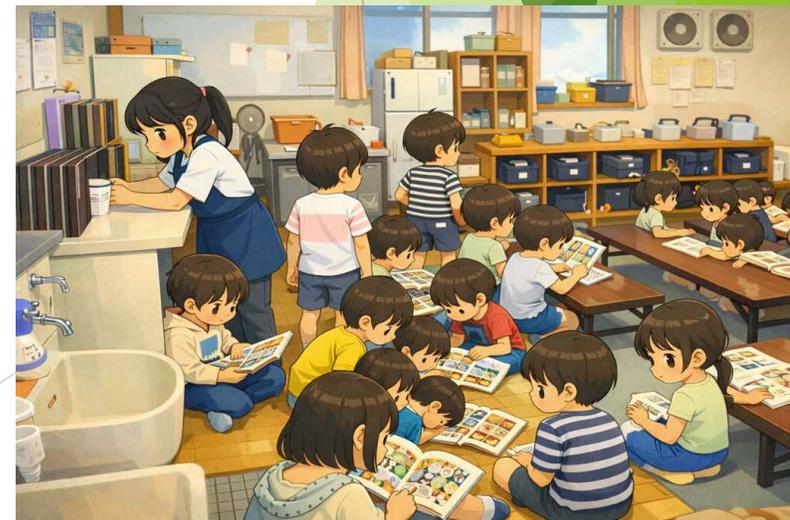
学習・発達面

- ・ 集中できない環境
- ・ 活動内容の制限

心理面

- ・ ストレス・不安の増加
- ・ 友人関係の摩擦
- ・ 自己肯定感の低下

一人あたり1.65㎡の面積基準を下回るケースが発生し、活動スペースと安全確保の両面で支障が生じている



3. 学校施設活用を巡る課題

学校内での余裕教室確保が困難になっている背景には 教育現場の構造的変化が関係

01

40人→35人学級

少人数教育の推進により、従来「余裕教室」とされていた空間が通常学級として使用されている

02

支援教育等の増加

支援教育学級や通級指導教室の設置が進み、専用スペースの需要が増大

03

教室の多用途化

校内カウンセリングルーム等、児童の心理的支援に必要な専用空間の確保が必要である

□ 今後も支援教育の編制基準が変わり、さらに教室が必要、学校内での児童会室の確保は困難になる見通しである

第3章 個別施設計画策定にあたって整備の考え方

地域ごとに状況も異なるため、施設ごとに以下の基準を踏まえ精査

1. 学校施設の活用
2. 過密化の状況（入室率）
3. 施設の老朽化の進行
4. 開発等も見据えた児童数の増加予測
5. 交付金等の財源確保
6. 公共施設マネジメント推進計画との整合性



第4章 今後の進め方

1. 可能性調査の実施

各施設の整備条件や費用、実現性を把握するため、令和8年度以降、可能性調査を実施。調査結果を踏まえ、段階的な整備スケジュールを設定する。

2. 関係部署との連携

関係部局等と連携しながら、円滑な事業推進を図るため、整備の時期について引き続き協議を行う。

第5章 整備対象施設と優先順位

過密化、老朽化、教室の活用状況等を総合的に評価し、
施設を分類

学校施設の活用の可否

教室活用可否	児童会室 下線は専用棟が老朽化しているところ
教室を活用 (26校)	<u>山田</u> 、 <u>津田</u> 、 <u>小倉</u> 、 <u>殿二</u> 、 <u>サダ</u> 、 <u>交北</u> 、 <u>菅原</u> 、 <u>招提</u> 、 <u>田口山</u> 、 <u>中宮</u> 、 <u>枚方</u> 、 <u>津田南</u> 、 <u>樟葉南</u> 、 <u>磯島</u> 、 <u>氷室</u> 、 <u>藤阪</u> 、 <u>桜丘</u> 、 <u>殿一</u> 、 <u>西牧野</u> 、 <u>山田東</u> 、 <u>サダ西</u> 、 <u>長尾</u> 、 <u>川越</u> 、 <u>桜丘北</u> 、 <u>船橋</u> 、 <u>西長尾</u>
要検討 (9校) 今後の児童数の推移 を注視	<u>開成</u> 、 <u>牧野</u> 、 <u>香陽</u> 、 <u>樟葉西</u> 、 <u>菅原東</u> 、 <u>サダ東</u> 、 <u>平野</u> 、 <u>春日</u> 、 <u>伊加賀</u>
建て替え・建て増しが 必要 (8校)	<u>香里</u> 、 <u>明倫</u> 、 <u>樟葉</u> 、 <u>五常</u> 、 <u>枚二</u> 、 <u>山之上</u> 、 <u>樟葉北</u> 、 <u>東香里</u>

※禁野・・・令和8年度新校舎へ移転

★施設計画の記載内容

※【築年数】・【定員/入室児童数】・【1人あたり面積】・【班体制】は令和7年4月を基準に算出

【運営形態】
 ・公設公営：市が設置・運営している施設
 ・公設民営：市が設置し運営を民間事業者に委託している施設

【留守家庭児童会室の使用施設】
 ・専用棟：留守家庭児童会室専用の建物
 ・教室：小学校教室

【使用施設の延床面積】
 学校教室を活用している場合はその面積も含む

●●留守家庭児童会室名

専用棟 1棟 教室 1室 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/入室児童数	延床面積/基準上の面積(廊下、トイレを除いた)	1人あたり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
留守家庭児童会室 開設日	建築年数	専用棟の 構造	100人/ 90人	200㎡/ 150㎡	1.66㎡ /1.65㎡	2班	活用可能

【国基準】
 国の推奨する1人当たりの面積

【1人あたり面積】
 基準上の面積÷入室児童数

【小学校教室の活用】
 今後の活用見込の判定結果

建物評価

部分的に劣化有
修繕での対応可能

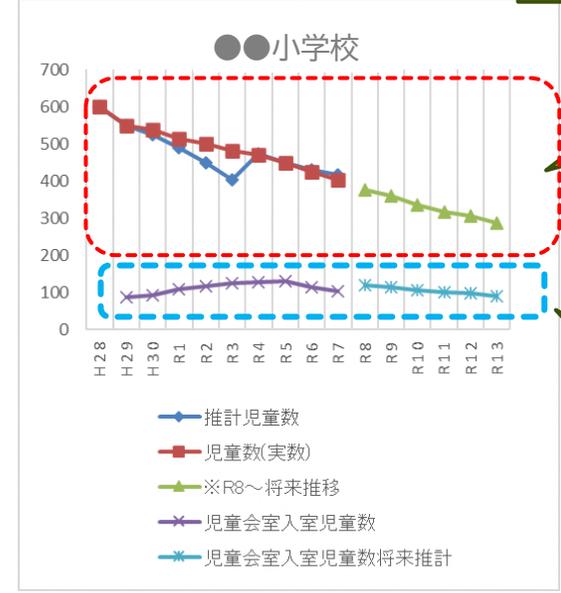
方向性

児童数の推移を注視し、小学校の余裕教室の活用を検討



【今後の施設の方性】
 ①青色：教室活用が可能
 ②紫色：児童数を注視しながら整備の方性を検討
 ③オレンジ色：建替・増築が必要な施設
 (整備の必要性についても記載)

児童数等推移



各学校の全児童数の推移

各留守家庭児童会室の入室児童数の推移

入室率の推移

H29:15.7%→R7:25.4% ↗

各留守家庭児童会室の入室率の推移

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成27年6月	10年	鉄骨造	104人/ 104人	235.66㎡/ 138.25㎡	1.33㎡ /1.65㎡	2班	活用可能

建物評価

部分的に劣化有
修繕での対応可能

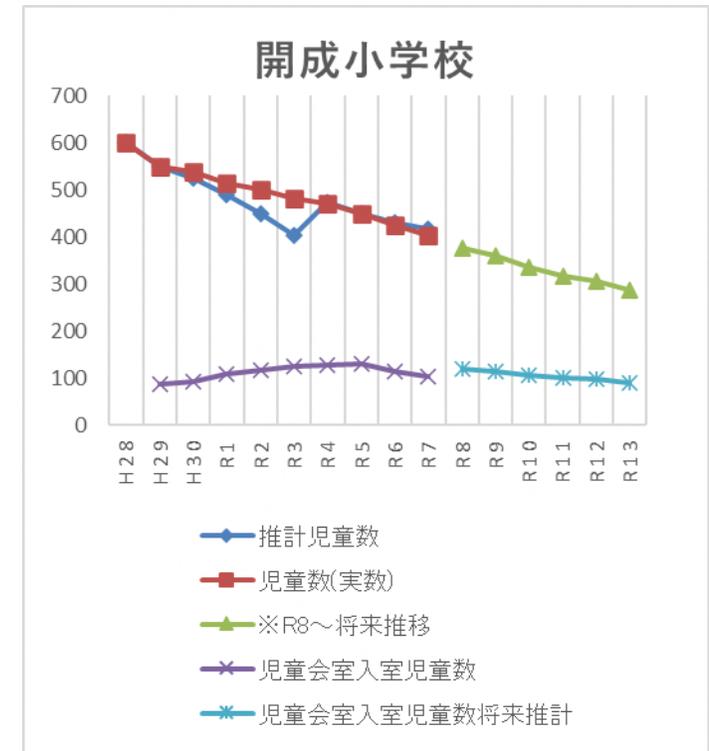
方向性

児童数の推移を注視し、
小学校の余裕教室の活用を検討

建物外観



児童数等推移



入室率の推移

H29:15.7%→R7:25.4% ↗

山田留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成5年2月	32年	軽量 鉄骨造	50人/ 34人	110.96㎡/ 78.35㎡	2.3㎡ /1.65㎡	1班	活用可能

建物評価

全般的に劣化有

方向性

将来的には小学校の余裕教室での運営を検討

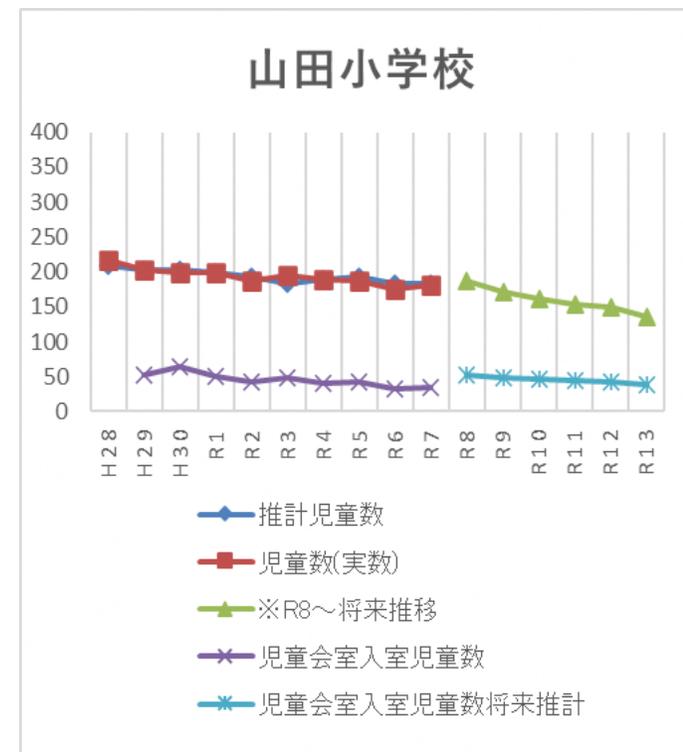
入室率の推移

H29:26%→R7:18.3%↘

建物外観



児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成29年 3 月	8 年	鉄骨造 2階建て	210人/ 210人	401m ² / 337.35m ²	1.61m ² / /1.65m ²	4 班	活用不可

建物評価
全般的に劣化有

方向性
施設の過密化のため、増築が必要

入室率の推移

H29:19%→R7:28.5% ↗

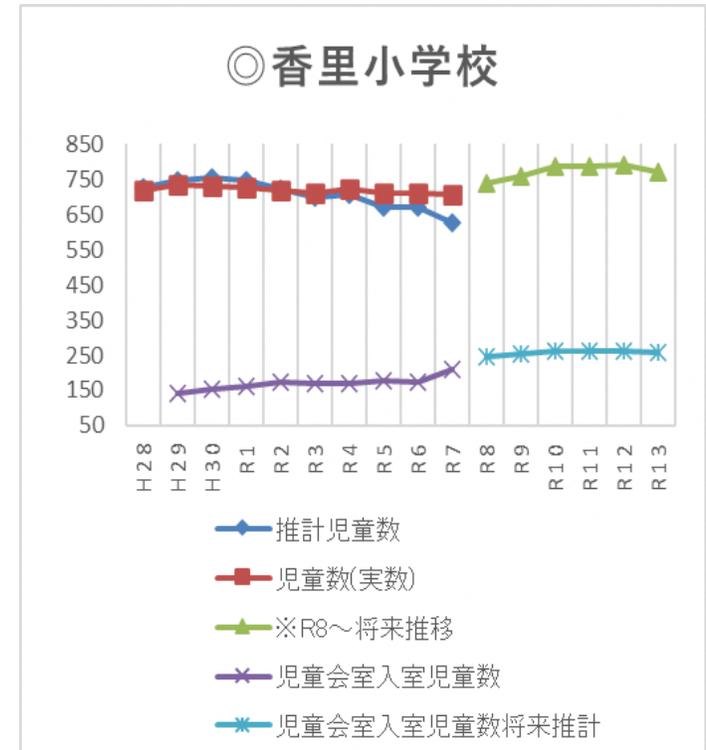
建物外観



整備の必要性

教室返還の可能性に加え、入室児童数増加により過密化の進行が見込まれるため、早急な増築による対応が必要

児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成 8 年 3 月	29年	軽量 鉄骨造	61人/ 61人	129.86㎡/ 85.28㎡	1.4㎡ /1.65㎡	1 班	活用不可

建物評価

全般的に劣化有

方向性

施設の老朽化及び過密化のため増築が必要

入室率の推移

H29:27.8%→R7:22.8% ↘

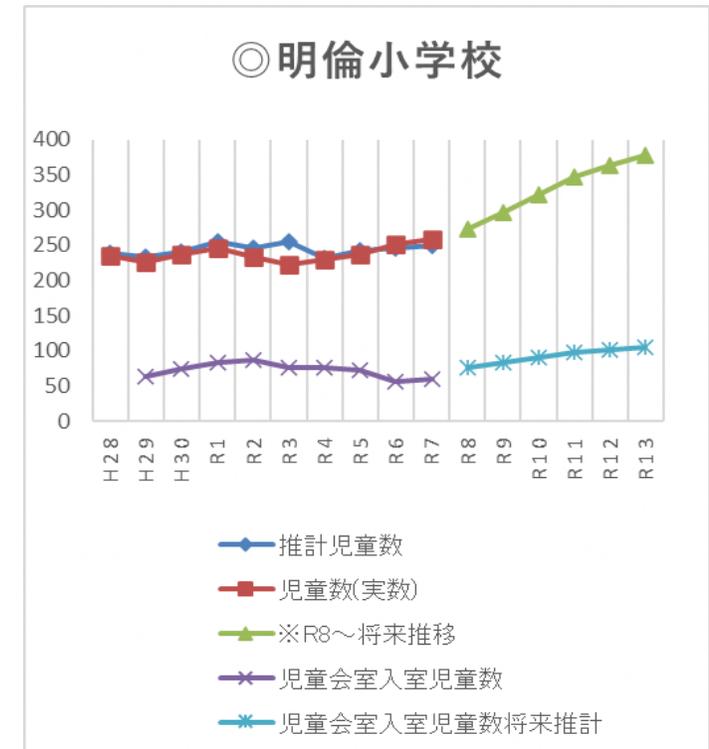
建物外観



整備の必要性

学校施設の活用が難しい中、施設の過密化や老朽化が進んでいるため、今後の児童数増加を見据え、早急に建て替えや増築による対応が必要

児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
昭和49年3月	51年	鉄骨造	94人/ 86人	429.95㎡/ 343.38㎡	3.99㎡ /1.65㎡	2班	活用可能

建物評価

全般的に劣化有

方向性

将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

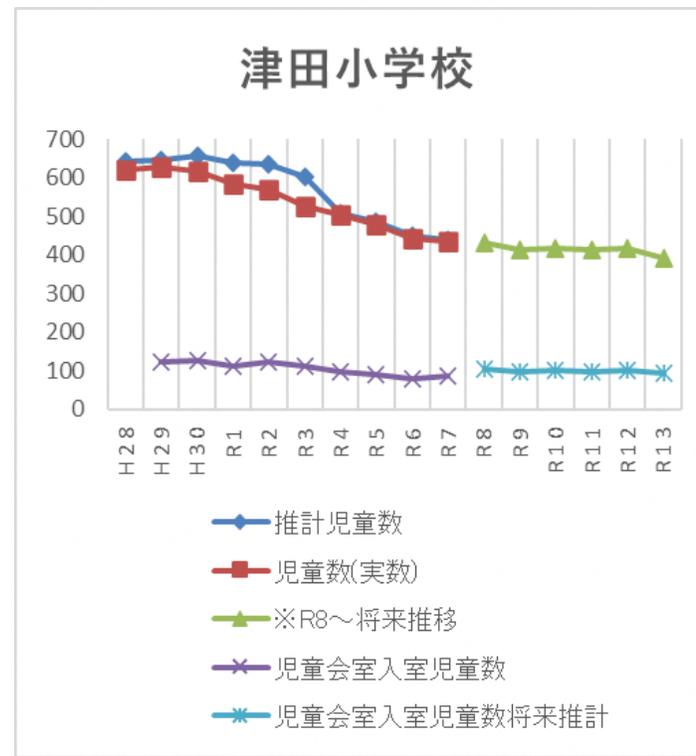
入室率の推移

H29:19.3%→R7:19.3%→

建物外観



児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の 面積（廊下、トイレ を除いた）	1人当たり面積/国基 準	班体制	小学校教室の活用
①平成12年3月 ②平成17年4月 ③平成18年3月	①25年 ②20年 ③19年	①鉄骨造 ②③軽量鉄骨造	162人/ 162人	250.64㎡/ 201.11㎡	1.24㎡ /1.65㎡	3班	活用可能

建物評価

全般的に劣化有
修繕での対応可能

方向性

児童数の推移を注視し、
小学校の余裕教室の活
用を検討

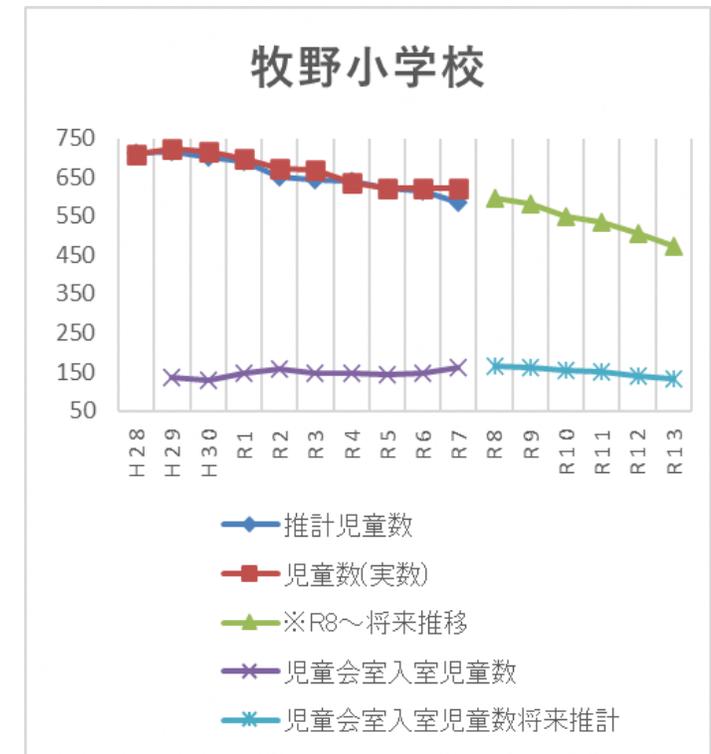
入室率の推移

H29:18.7%→R7:25.5% ↗

建物外観



児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
令和元年 7 月	6 年	鉄骨造	100人/ 98人	240m ² / 159.21m ²	1.62m ² / /1.65m ²	2 班	活用可能

建物
評価

全般的に劣化有

方向
性

将来的には小学校の余
裕教室での運営を検討

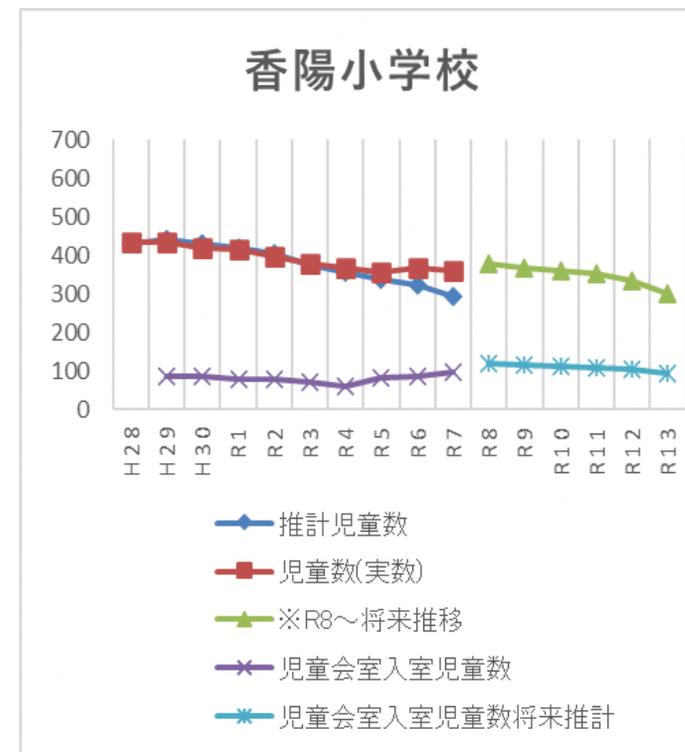
入室率の推移

H29:20%→R7:26.3% ↗

建物外観



児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成15年 3 月	22年	鉄骨造	103人/ 103人	252.46㎡/ 168.35㎡	1.63㎡ /1.65㎡	2 班	活用可能

建物評価

部分的に劣化有
修繕での対応可能

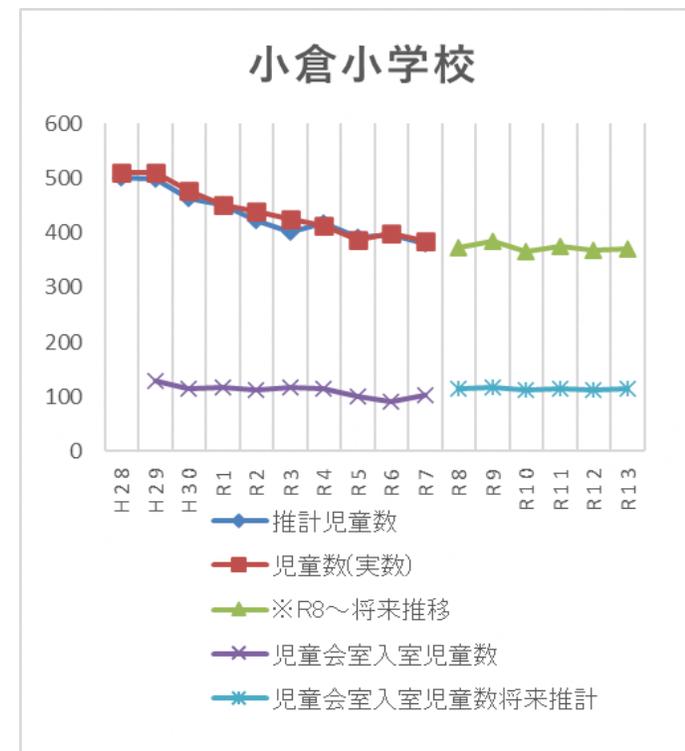
方向性

将来的には小学校の余
裕教室での運営を検討
していく。

建物外観



児童数等推移



入室率の推移

H29:26%→R7:18.3%↘

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の 面積（廊下、トイレを除いた）	1人当たり面積/ 国基準	班体制	小学校教室の活用
①平成20年3月 ②昭和62年8月	①17年 ②38年	①鉄骨造 ②軽量鉄骨造	187人/ 187人	222.58㎡	1.19㎡ /1.65㎡	3班	活用不可

建物評価
全般的に劣化有

方向性
施設の老朽化及び過密化のため増築が必要

入室率の推移

H29:16.4%→R7:26.2% ↗

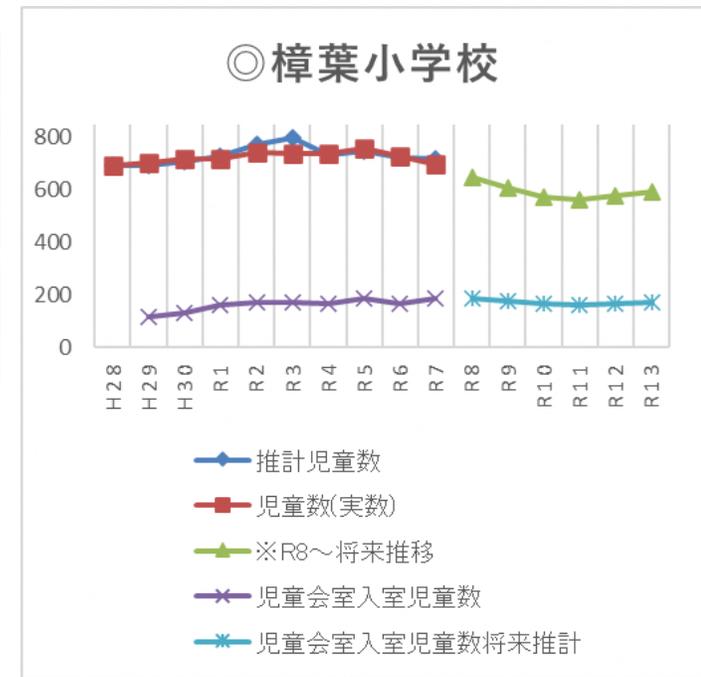
建物外観



整備の必要性

学校施設の活用が難しい中、施設の過密化や老朽化が進んでいるため、早急に建て替えや増築による対応が必要

児童数等推移



殿山第二留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積 /国基準	班体制	小学校教室の活用
昭和44年 3 月	56年	鉄骨造 旧幼稚園園舎	100人/ 79人	175.13m ² (児童会室のみの面積)	2.22m ² /1.65m ²	2 班	活用可能

建物
評価

全般的に劣化有

方向
性

将来的には小学校の余
裕教室での運営を検討
していく

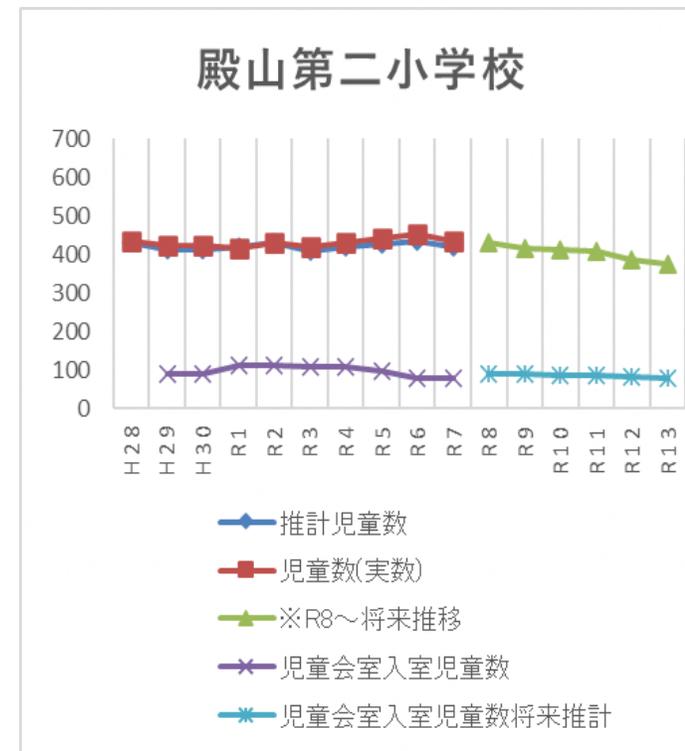
入室率の推移

H29:21.5%→R7:17.6% ↘

建物外観



児童数等推移



蹉跎留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成28年 3 月	9年	鉄骨造	100人/ 95人	240m ² / 158.88m ²	1.67m ² / /1.65m ²	2 班	活用可能

建物
評価

全般的に劣化有

方向
性

将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

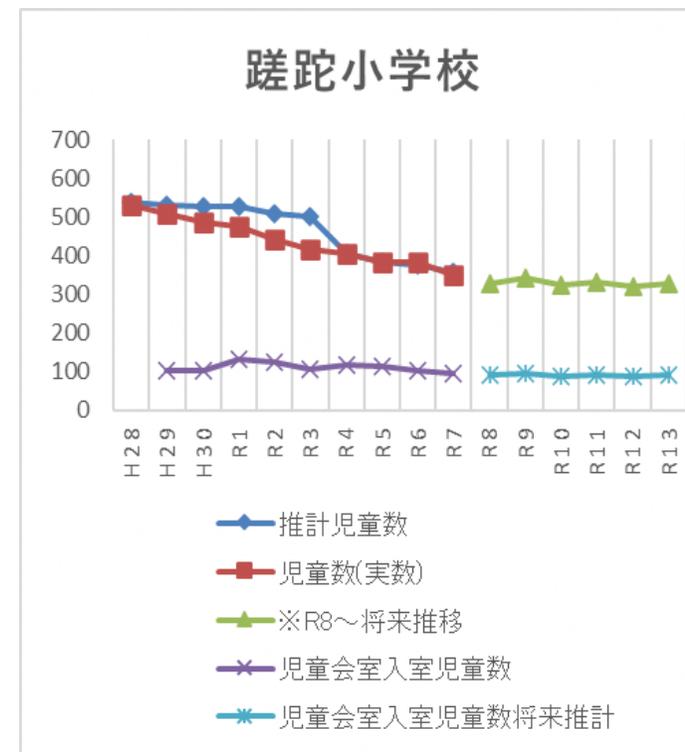
入室率の推移

H29:20.2%→R7:25.9% ↗

建物外観



児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成 3 年 3 月	34年	軽量 鉄骨造	150人/ 123人	238.66㎡/ 205.58㎡	1.67㎡ /1.65㎡	3 班	活用不可

建物評価
全般的に劣化有

方向性
施設の老朽化及び今後過密化が予測されるため増築が必要

入室率の推移

H29:16.8%→R7:23.4% ↗

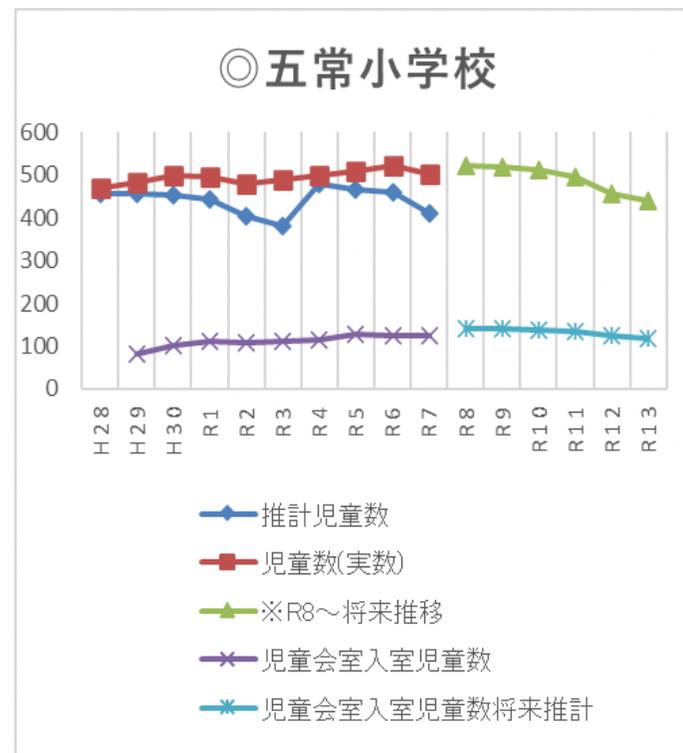
建物外観



整備の必要性

教室返還の可能性に加え、施設の過密化や老朽化が進んでいるため、早急な増築による対応が必要

児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成5年3月	32年	軽量 鉄骨造	87人/ 81人	174.27㎡/ 120.49㎡	1.49㎡ /1.65㎡	2班	活用可能

建物
評価

全般的に劣化有

方向
性

将来的には小学校の余
裕教室での運営を検討
していく

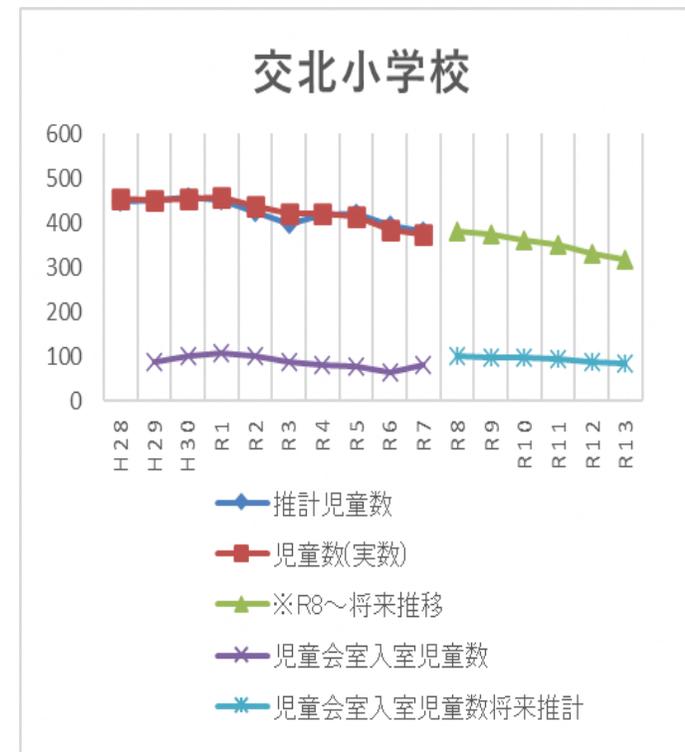
入室率の推移

H29:19.1%→R7:21%↗

建物外観



児童数等推移



菅原留守家庭児童会室

専用棟 1 棟・教室 1 室 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成 8 年 11 月	28 年	鉄骨造	108 人/ 108 人	243.56m ² / 191.75m ²	1.78m ² / 1.65m ²	2 班	活用可能

建物評価
全般的に劣化有

方向性
将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

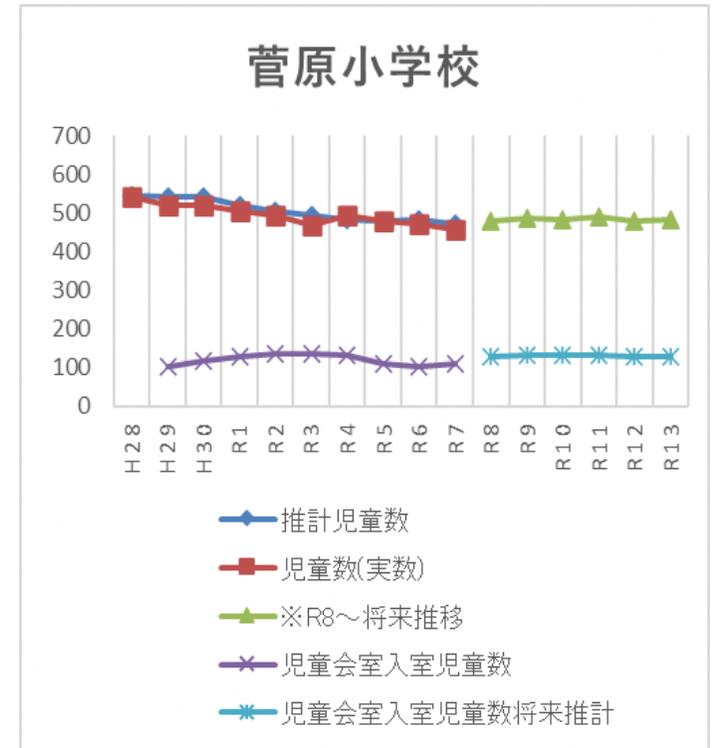
入室率の推移

H29:20%→R7:23% ↗

建物外観



児童数等推移



招提留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 公設公営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成3年9月	33年	軽量鉄骨造	61人/ 61人	110.55m ² / 75.74m ²	1.24m ² / 1.65m ²	1班	活用可能

建物評価

全般的に劣化有

方向性

将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

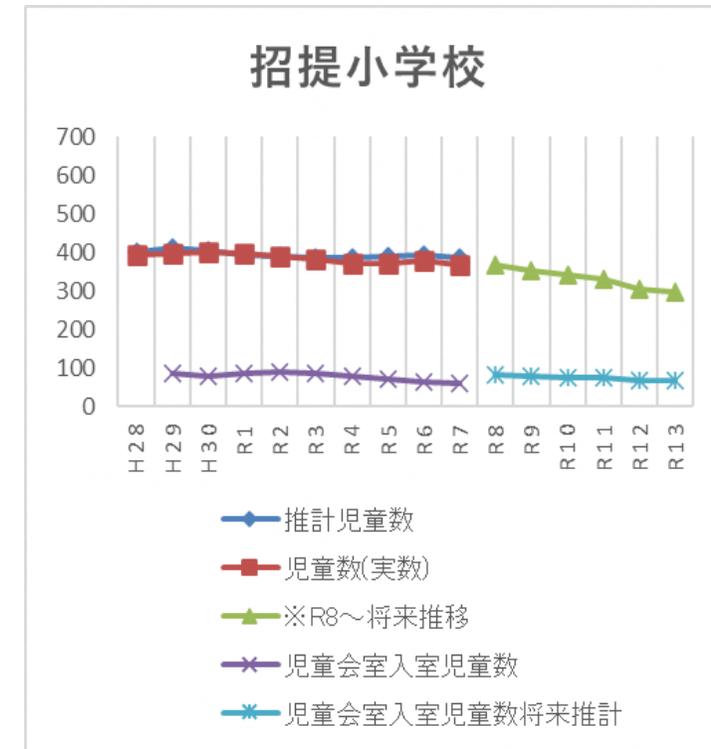
入室率の推移

H29:21.5%→R7:16.1%↘

建物外観



児童数等推移



枚方第二留守家庭児童会室

専用棟 1 棟・教室 2 室 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成4年9月	32年	軽量 鉄骨造	155人/ 155人	234.87㎡/ 204.94㎡	1.32㎡ /1.65㎡	3班	活用不可

建物評価
全般的に劣化有

方向性
施設の老朽化及び過密化のため増築が必要

入室率の推移

H29:21.9%→R7:27.9% ↗

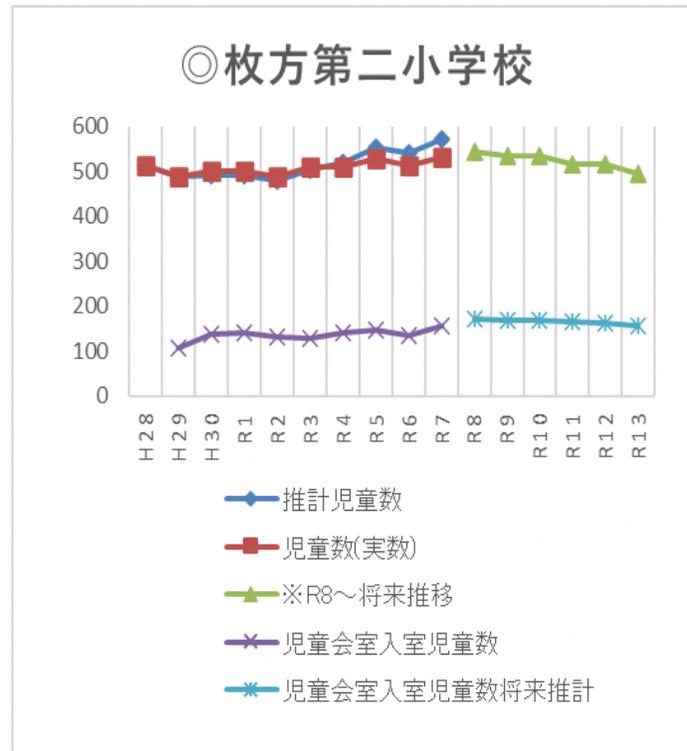
建物外観



整備の必要性

教室返還の可能性と施設の過密化及び老朽化が進行しており、今後の入室児童数増加も見込まれることから、早急な建て替え・増築による対応が必要

児童数等推移



田口山留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成18年 3月	19年	軽量 鉄骨造	100人/ 81人	155.76m ² / 127.56m ²	1.57m ² / 1.65m ²	2 班	活用可能

建物
評価

全般的に劣化有

方向
性

将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

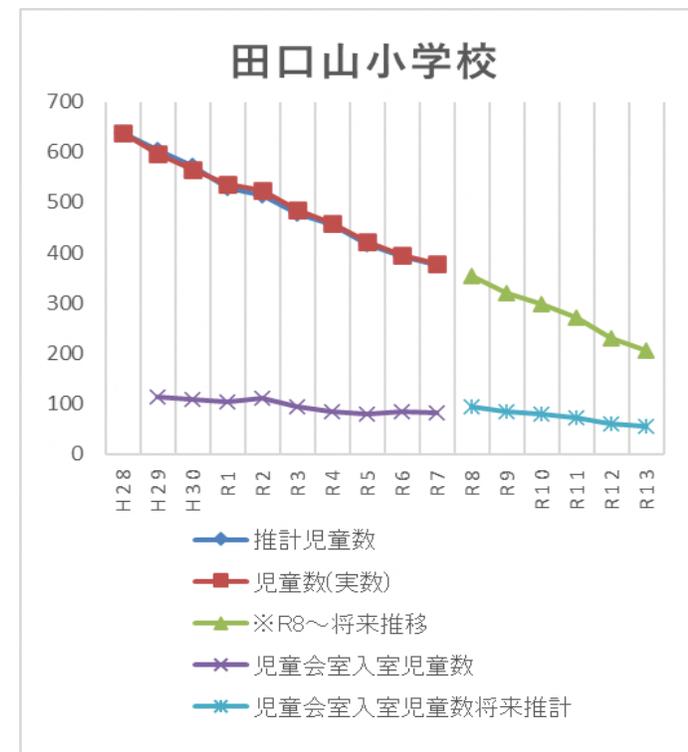
入室率の推移

H29:19.1%→R7:20.7% ↗

建物外観



児童数等推移



中宮留守家庭児童会室

専用棟 1 棟・教室 1 室 公設公営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成 3 年 9 月	33年	軽量 鉄骨造	98人/ 82人	220.3m ² / 170.73m ²	2.08m ² / 1.65m ²	2 班	活用可能

建物評価
全般的に劣化有

方向性
将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

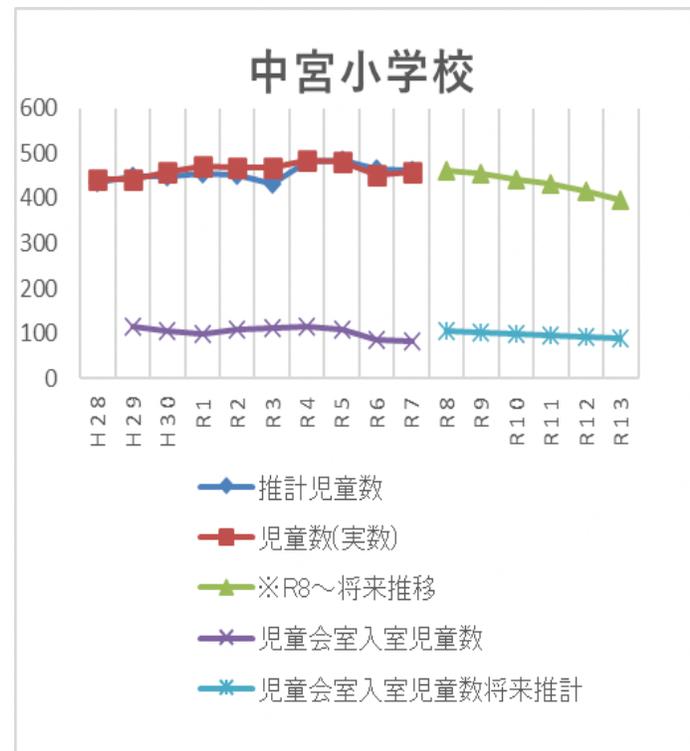
入室率の推移

H29:25.8%→R7:17.3% ↘

建物外観



児童数等推移



枚方留守家庭児童会室

専用棟 2 棟 公設公営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/ 国基準	班体制	小学校教室の活用
①平成21年2月 ②平成28年11月	①16年 ②8年	鉄骨造	148人/ 131人	331.53㎡/ 246.24㎡	1.88㎡ /1.65㎡	3班	活用可能

建物評価

部分的に劣化有
修繕での対応可能

方向性

将来的には小学校の余
裕教室での運営を検討
していく

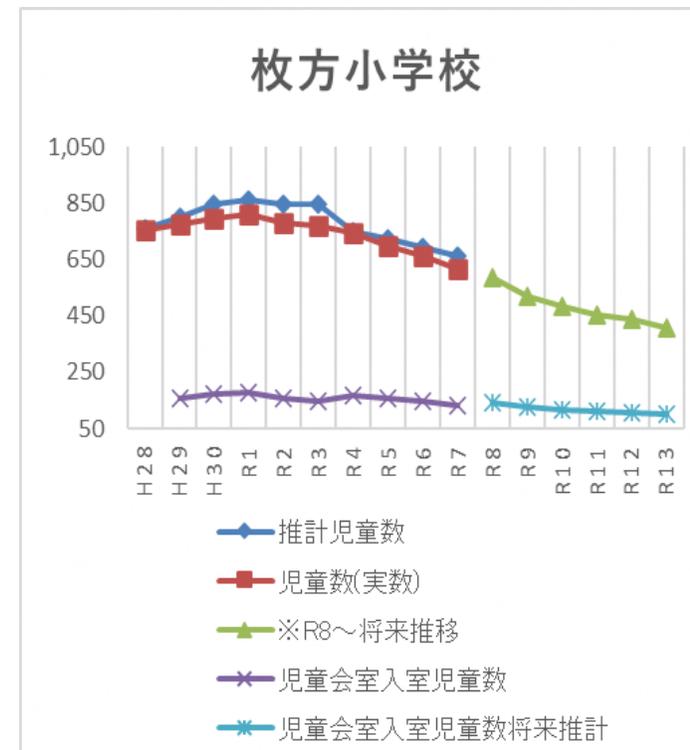
入室率の推移

H29:20.1%→R7:20.1%→

建物外観



児童数等推移



山之上留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 ・ 教室 1 室 公設公営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成元年 9 月	35年	軽量 鉄骨造	156人/ 156人	233.29㎡/ 179.83㎡	1.15㎡ /1.65㎡	3 班	活用不可

建物評価
全般的に劣化有

方向性
施設の老朽化及び過密化のため増築が必要

入室率の推移

H29:21.5%→R7:23.3% ↗

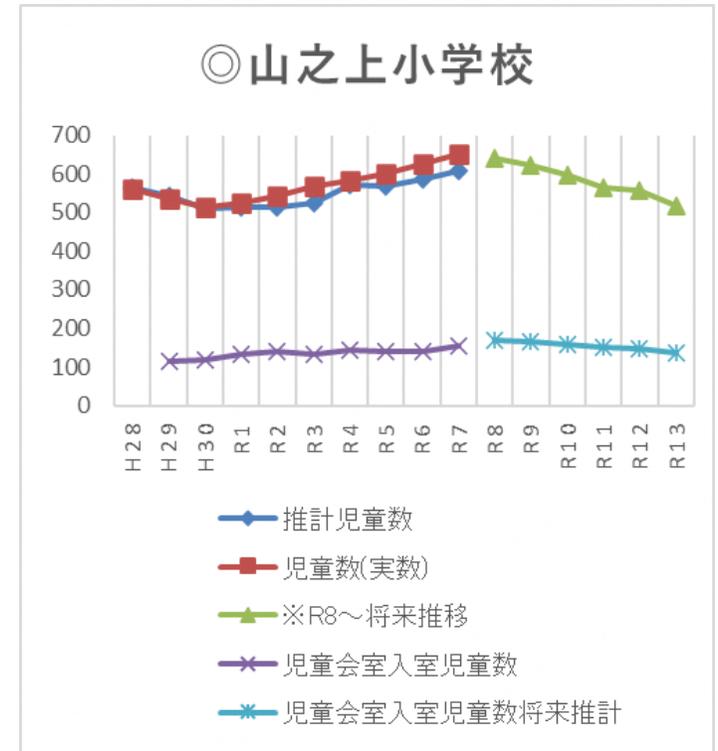
建物外観



整備の必要性

教室返還の可能性と施設の過密化及び老朽化が進行しており、今後の入室児童数増加も見込まれることから、早急な建て替え・増築による対応が必要

児童数等推移



津田南留守家庭児童会室

専用棟 2 棟 公設公営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の 面積（廊下、トイレ を除いた）	1人当たり面積/ 国基準	班体制	小学校教室の 活用
①平成19年 3月 ②平成29年 3月	①18年 ② 8年	①軽量鉄骨造 ②鉄骨造（2階建）	150人/ 145人	519.94m ² / 340.43m ²	2.41m ² /1.65m ²	3班	活用可能

建物評価

部分的に劣化有
修繕での対応可能

方向性

将来的には小学校の余
裕教室での運営を検討
していく。

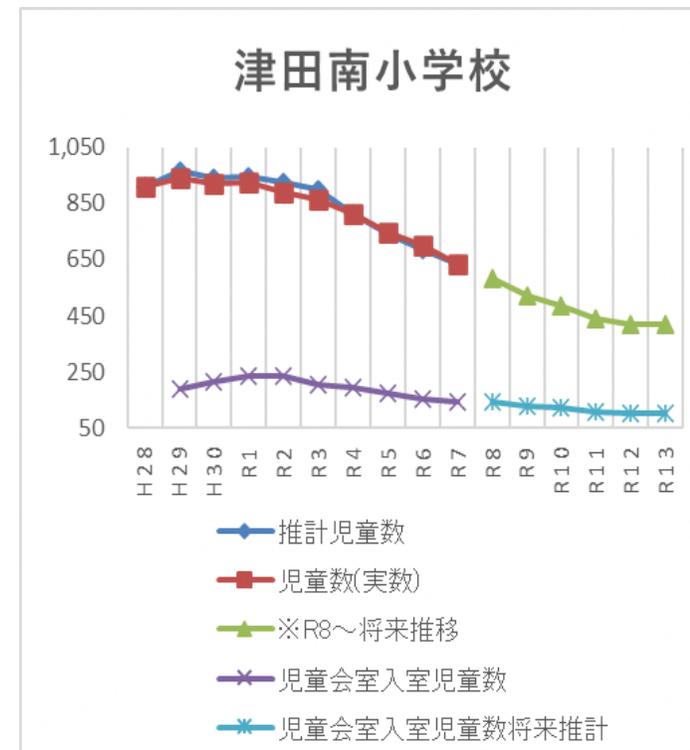
入室率の推移

H29:20.4%→R7:22.2% ↗

建物外観



児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成6年3月	31年	軽量 鉄骨造	107人/ 107人	237.17m ² / 181.91m ²	1.7m ² /1.65m ²	2班	活用可能

建物評価
全般的に劣化有

方向性
児童数の推移を注視し、
小学校の余裕教室の活用を検討

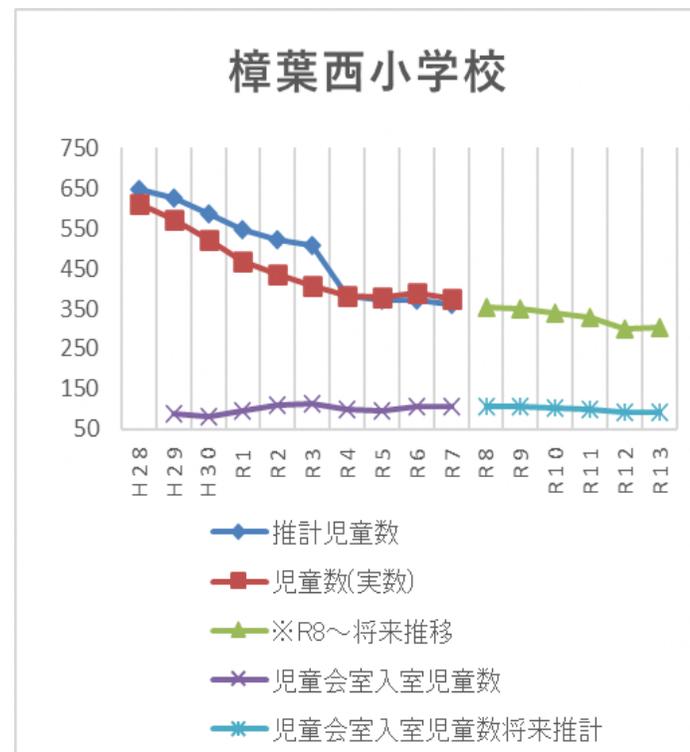
入室率の推移

H29:15.8%→R7:27.4% ↗

建物外観



児童数等推移



樟葉南留守家庭児童会室

専用棟 1 棟・教室 1 室 公設公営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成 2 年 9 月	34年	軽量 鉄骨造	100人/ 88人	216.98m ² / 173.02m ²	1.97m ² / 1.65m ²	2 班	活用可能

建物評価
全般的に劣化有

方向性
将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

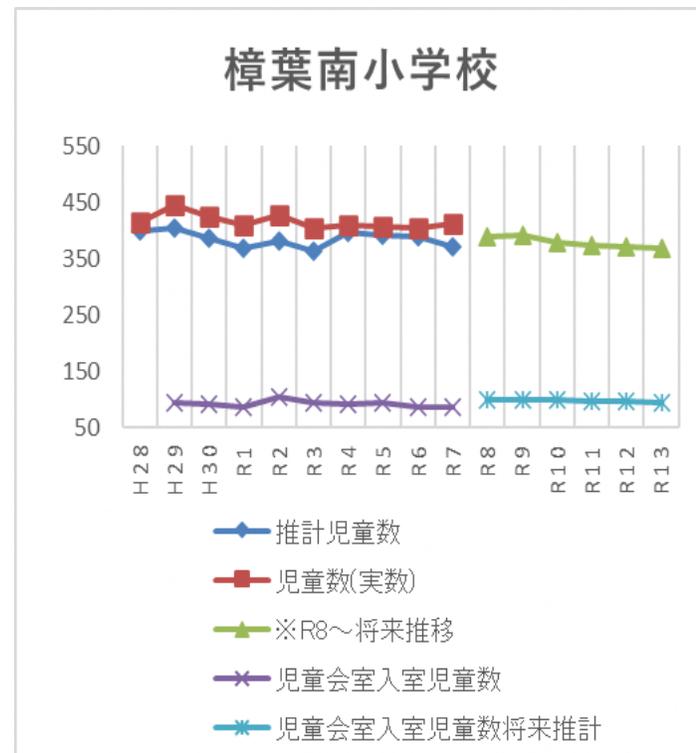
入室率の推移

H29:21.1%→R7:20.9% ↘

建物外観



児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/ 国基準	班体制	小学校教室の活用
①平成6年3月 ②平成26年3月	①31年 ②11年	①軽量鉄骨造 ②鉄骨造	197人/ 192人	422.34m ² / 343.68m ²	1.79m ² / 1.65m ²	4班	活用可能

建物評価
全般的に劣化有

方向性
児童数の推移を注視し、
小学校の余裕教室の活用を検討

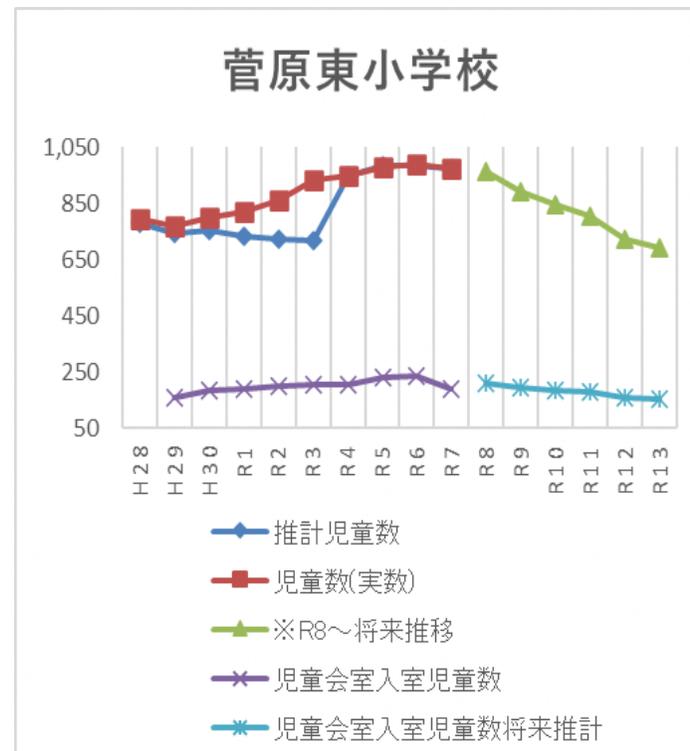
入室率の推移

H29:20.8%→R7:19.5% ↘

建物外観



児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成8年2月	29年	軽量 鉄骨造	87人/ 78人	188.83m ² / 123.42m ²	1.58m ² / /1.65m ²	2班	活用可能

建物評価

全般的に劣化有

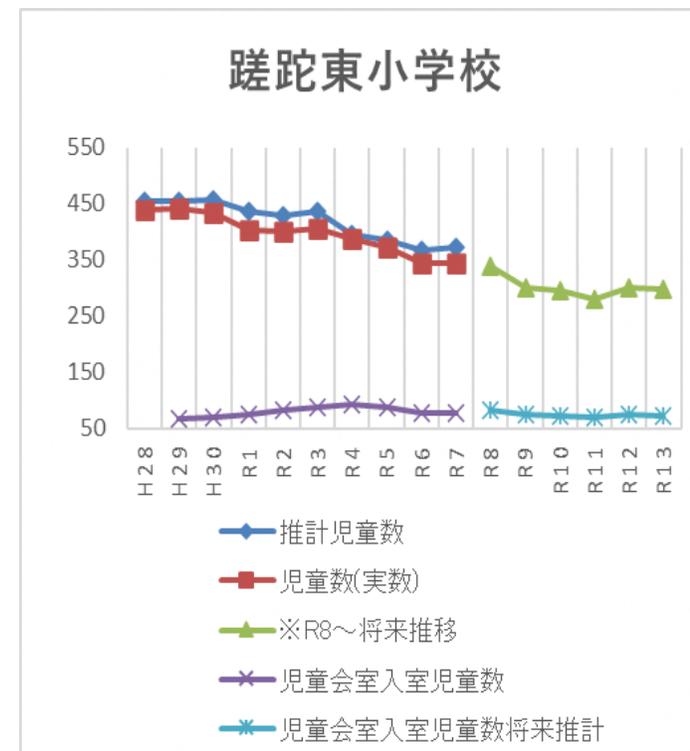
方向性

児童数の推移を注視し、
小学校の余裕教室の活用を検討

建物外観



児童数等推移



入室率の推移

H29:15.4%→R7:22.1% ↗

磯島留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成30年 3 月	7年	鉄骨造	100人/ 69人	240m ² / 159.75m ²	2.32m ² / 1.65m ²	2 班	活用可能

建物
評価

全般的に劣化有

方向
性

将来的には小学校の余
裕教室での運営を検討
していく

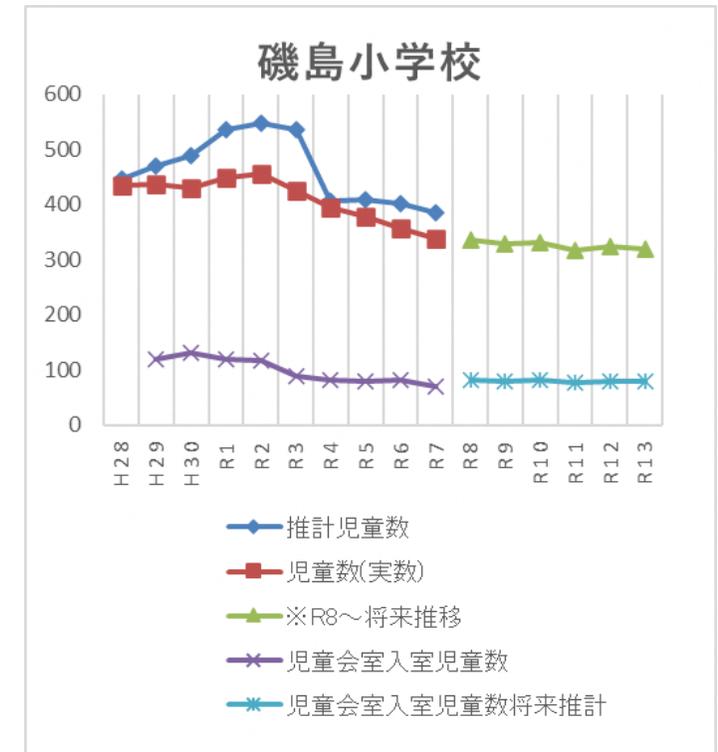
入室率の推移

H29:27.2%→R7:19.6% ↘

建物外観



児童数等推移



氷室留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 公設公営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成 8 年12月	28年	軽量 鉄骨造	62人/ 62人	138m ² / 90.45m ²	1.46m ² / /1.65m ²	1 班	活用可能

建物
評価

全般的に劣化有

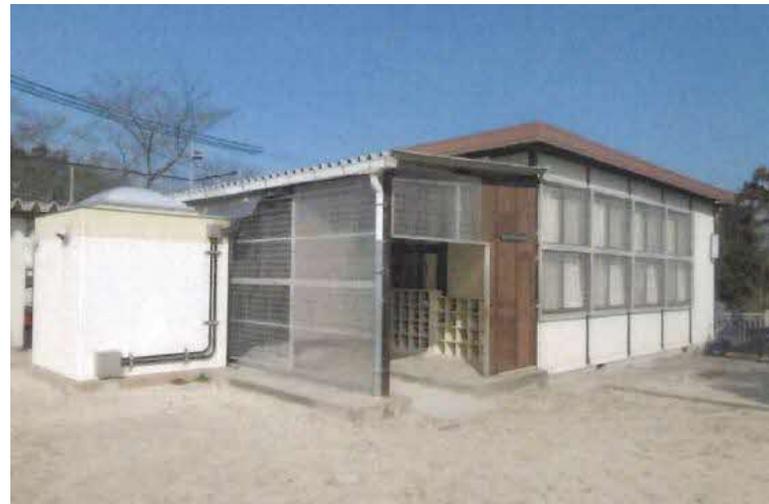
方向
性

将来的には小学校の余
裕教室での運営を検討
していく

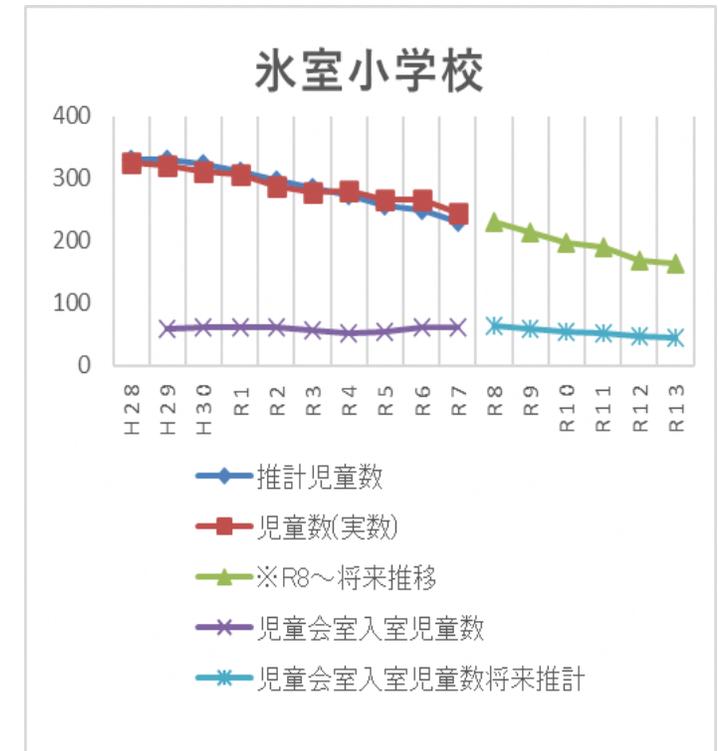
入室率の推移

H29:19%→R7:25% ↗

建物外観



児童数等推移



藤阪留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 教室 1 室 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成6年12月	30年	軽量 鉄骨造	99人/ 71人	180.81m ² / 139.52m ²	1.97m ² / 1.65m ²	2班	活用可能

建物
評価

全般的に劣化有

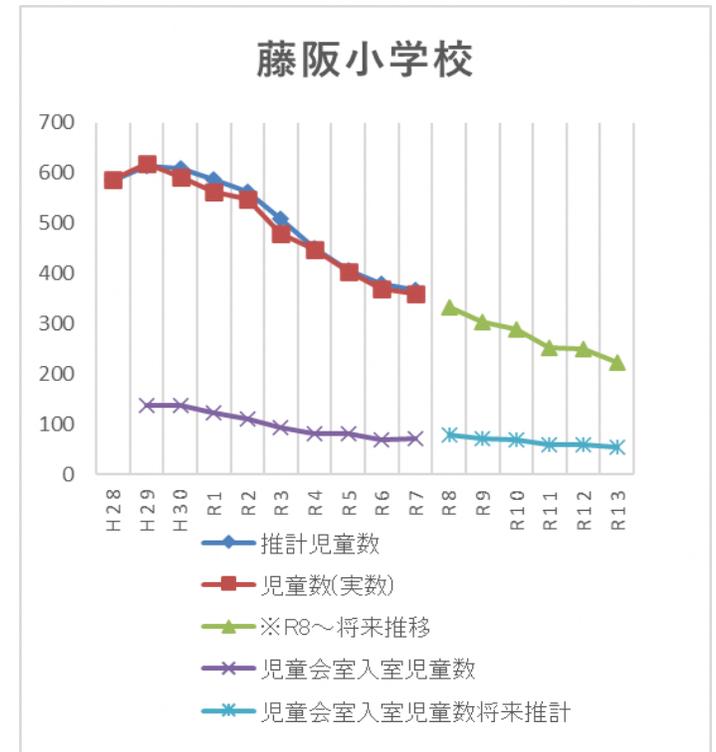
方向
性

将来的には小学校の余
裕教室での運営を検討

建物外観



児童数等推移



入室率の推移

H29:22.3%→R7:19.3% ↘

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成 7 年12月	29年	軽量 鉄骨造	150人/ 146人	263.2m ² / 222.86m ²	1.53m ² / /1.65m ²	3 班	活用可能

建物評価
全般的に劣化有

方向性
児童数の推移を注視し、
小学校の余裕教室の活用を検討

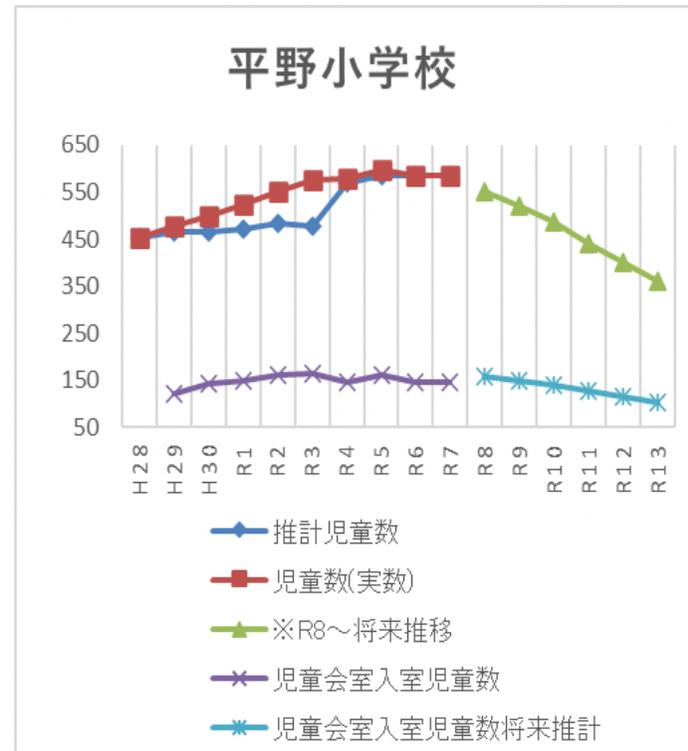
入室率の推移

H29:25.6%→R7:24.9% ↘

建物外観



児童数等推移



桜丘留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 教室 1 室 公設公営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成30年 3 月	7 年	鉄骨造	149人/ 126人	304m ² / 221.86m ²	1.76m ² / /1.65m ²	3 班	活用可能

建物評価

全般的に劣化有

方向性

将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

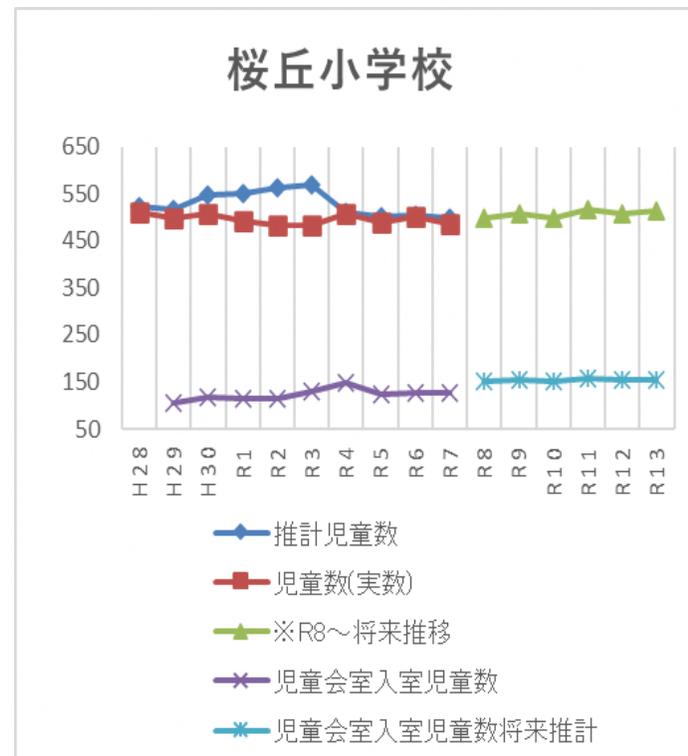
入室率の推移

H29:21.3%→R7:25.4% ↗

建物外観



児童数等推移



殿山第一留守家庭児童会室

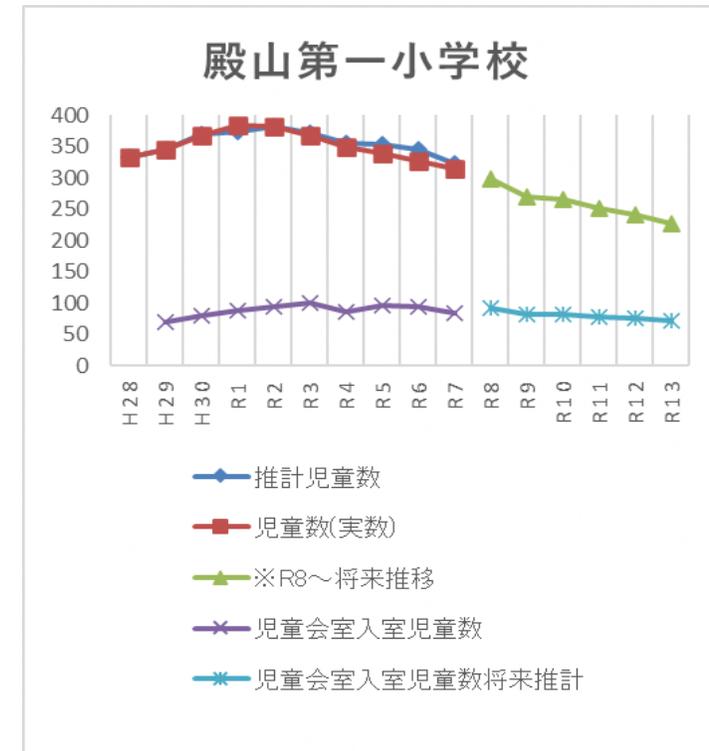
専用棟 1 棟 公設公営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成29年 3 月	8 年	鉄骨造	100人/ 85人	240m ² / 157.86m ²	1.86m ² / /1.65m ²	2 班	活用可能

建物外観



児童数等推移



建物評価

全般的に劣化有

方向性

将来的には小学校の余裕教室での運営を検討

入室率の推移

H29:20%→R7:26.5% ↗

春日留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 公設公営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成 7 年 4 月	30年	軽量 鉄骨造	95人/ 95人	191.55m ² / 126.27m ²	1.33m ² / 1.65m ²	2 班	活用可能

建物
評価

全般的に劣化有

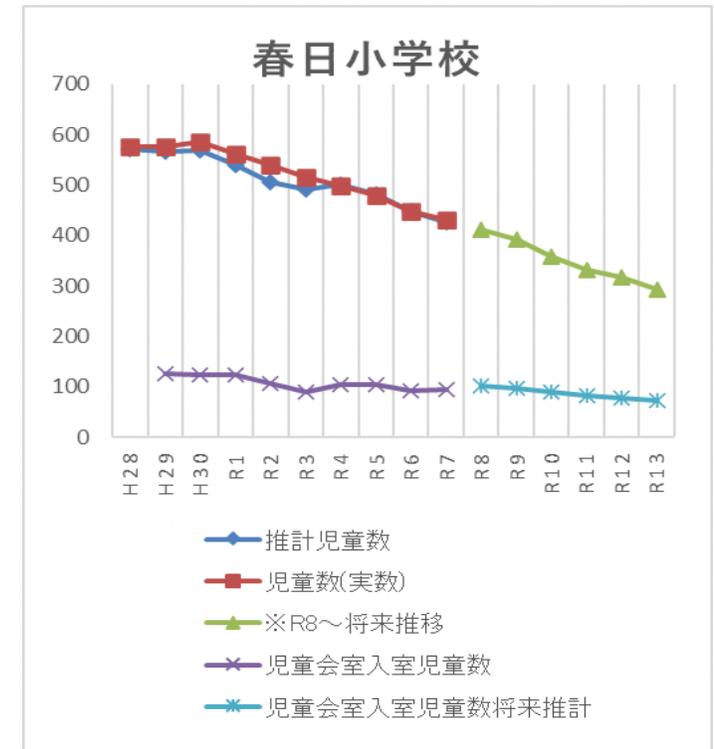
方向
性

児童数の推移を注視し、
小学校の余裕教室の活用
を検討

建物外観



児童数等推移



入室率の推移

H29:22.1%→R7:21.5%↘

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
小学校の教室のみ使用	—	—	100人/ 81人	128m ² / 128m ²	1.58m ² / 1.65m ²	2 班	活用可能

建物評価
全般的に劣化有

方向性
小学校の余裕教室での運営を行っており、今後の児童数の推移を注視していく

入室率の推移

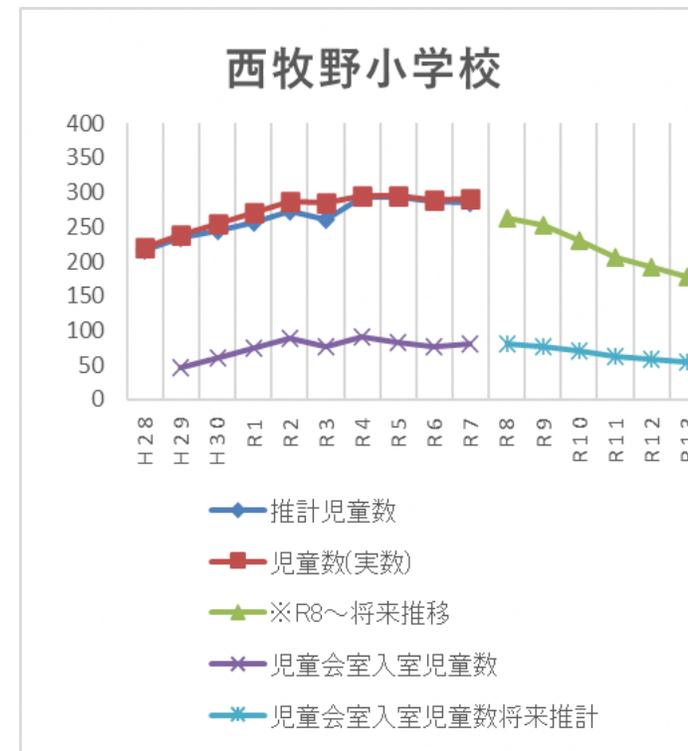
H29:19.3%→R7:27.7% ↗

建物外観



※旧児童会室：現在はOSで利用

児童数等推移



山田東留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成24年 3 月	13年	軽量 鉄骨造	50人/ 27人	218.14m ² / 146.06m ²	5.41m ² / /1.65m ²	1 班	活用可能

建物評価
全般的に劣化有

方向性
将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

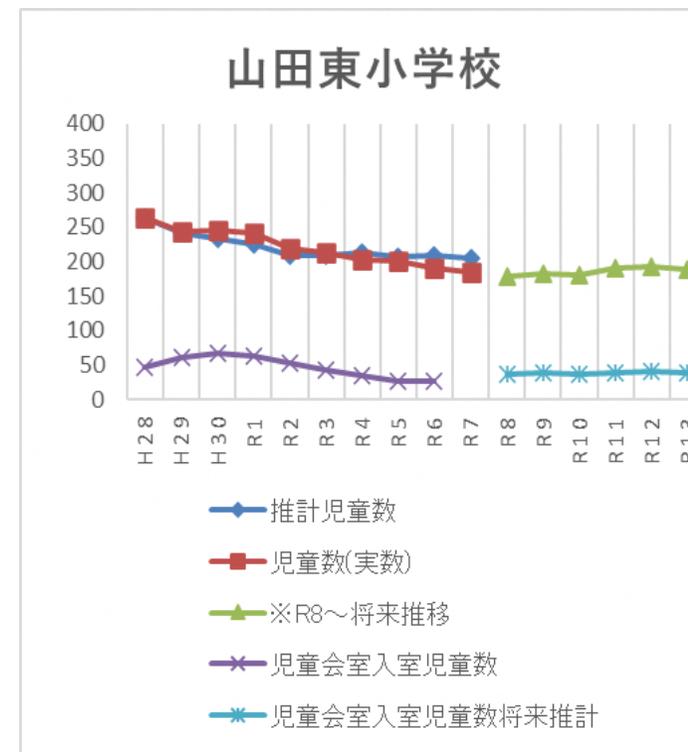
入室率の推移

H29:19.3%→R7:14.4% ↘

建物外観



児童数等推移



蹉跎西留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成16年 3 月	21年	鉄骨造	100人/ 100人	270.13m ² / 183.54m ²	1.84m ² / /1.65m ²	2 班	活用可能

建物評価
全般的に劣化有

方向性
将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

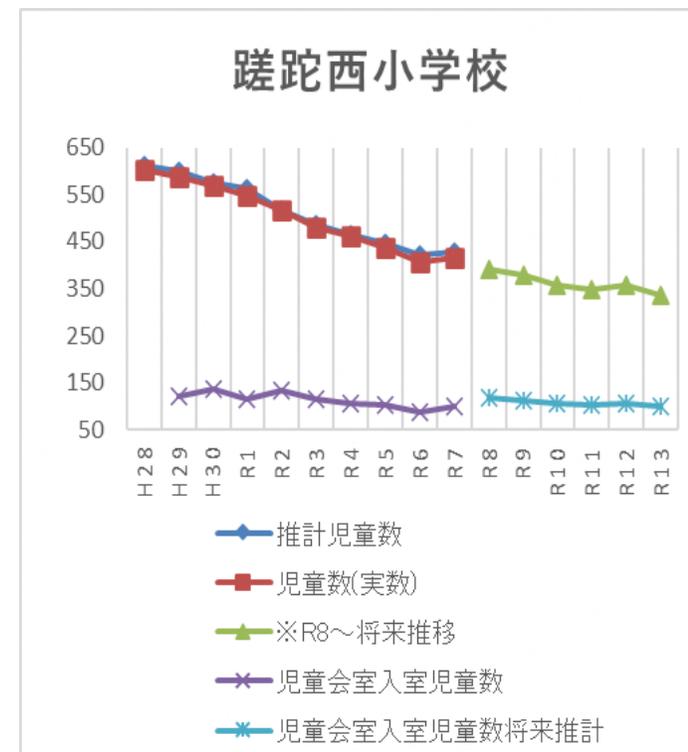
入室率の推移

H29:20.8%→R7:23.5% ↗

建物外観



児童数等推移



長尾留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成9年3月	28年	軽量 鉄骨造	50人/ 50人	166.4m ² / 124.15m ²	2.48m ² / 1.65m ²	2班	活用可能

建物
評価

全般的に劣化有

方向
性

将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

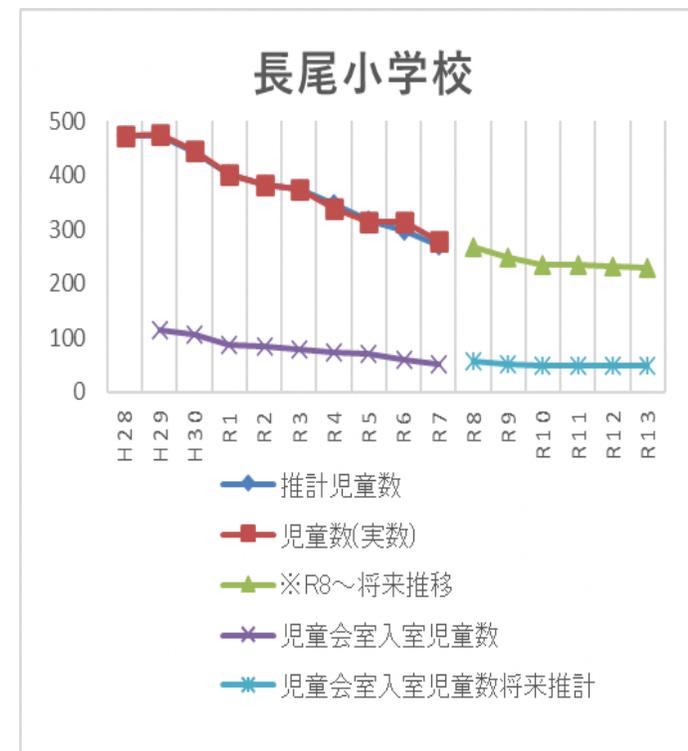
入室率の推移

H29:23.9%→R7:16.8% ↘

建物外観



児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成23年 3月	14年	軽量 鉄骨造	50人/ 31人	218.14m ² / 146.04m ²	4.71m ² / /1.65m ²	1班	活用可能

建物評価
全般的に劣化有

方向性
将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

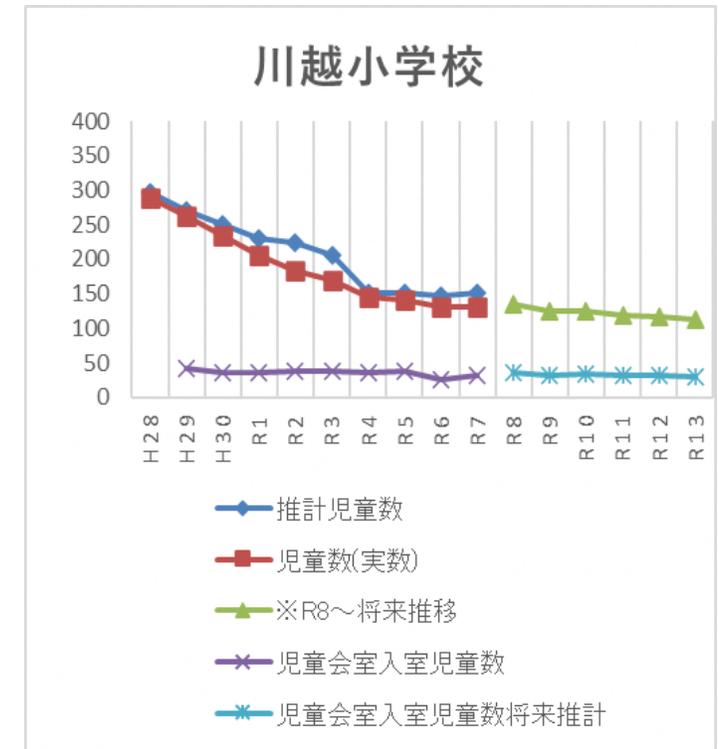
入室率の推移

H29:15.6%→R7:21.5% ↗

建物外観



児童数等推移



桜丘北留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成25年 2 月	12年	軽量 鉄骨造	61人/ 61人	247.11m ² / 168.4m ²	2.76m ² / 1.65m ²	1 班	活用可能

建物
評価

全般的に劣化有

方向
性

将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

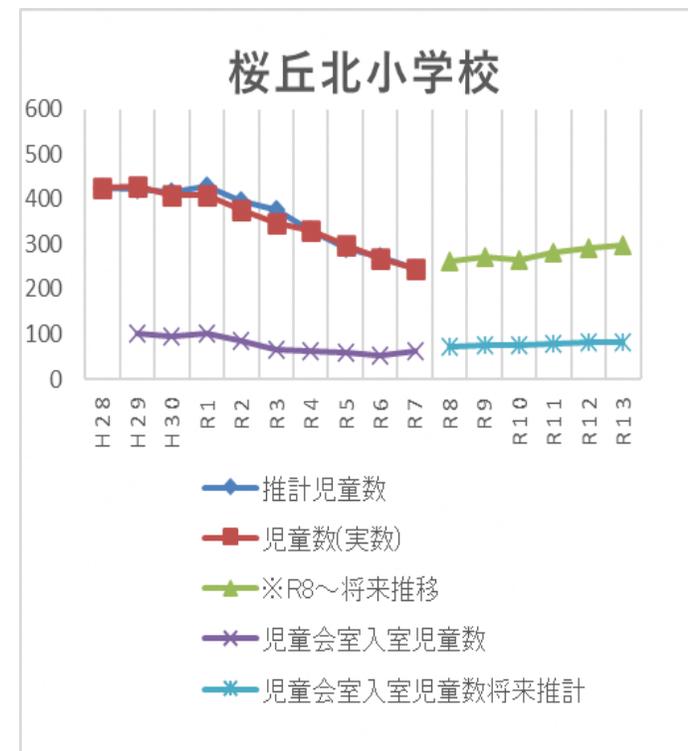
入室率の推移

H29:23.3%→R7:23.8% ↗

建物外観



児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
昭和59年 3 月	41年	鉄骨造	100人/ 98人	163.54m ² / 146.72m ²	1.5m ² / 1.65m ²	2 班	活用不可

建物評価
全般的に劣化有

方向性
施設の老朽化及び過密化のため増築が必要

入室率の推移

H29:20.1%→R7:29.3% ↗

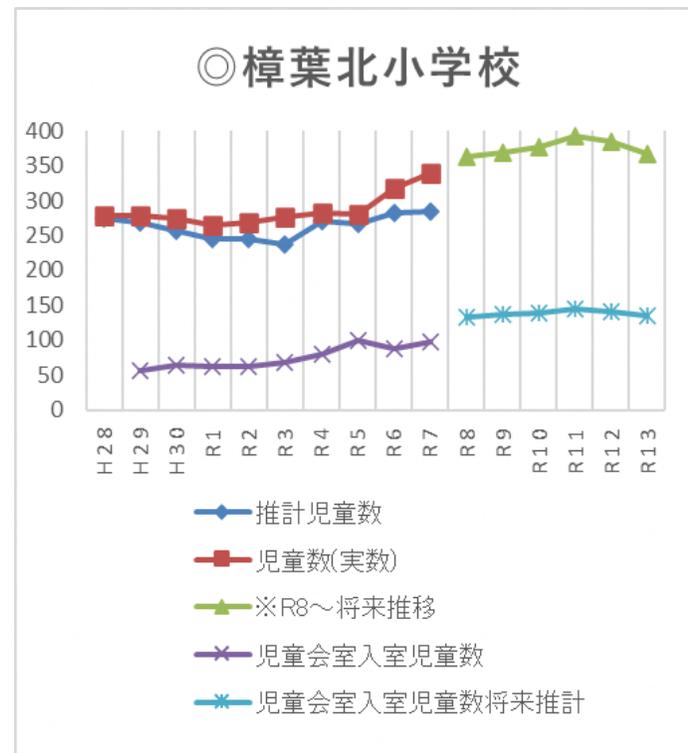
建物外観



整備の必要性

教室返還と施設の老朽化が進行しており、今後の入室児童数増加も見込まれることから、建て替え・増築による対応が必要

児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成28年 8 月	8 年	鉄骨造	108人/ 108人	240m ² / 160.24m ²	1.48m ² / /1.65m ²	2 班	活用可能

建物評価
全般的に劣化有

方向性
将来的には小学校の余裕教室での運営を検討していく

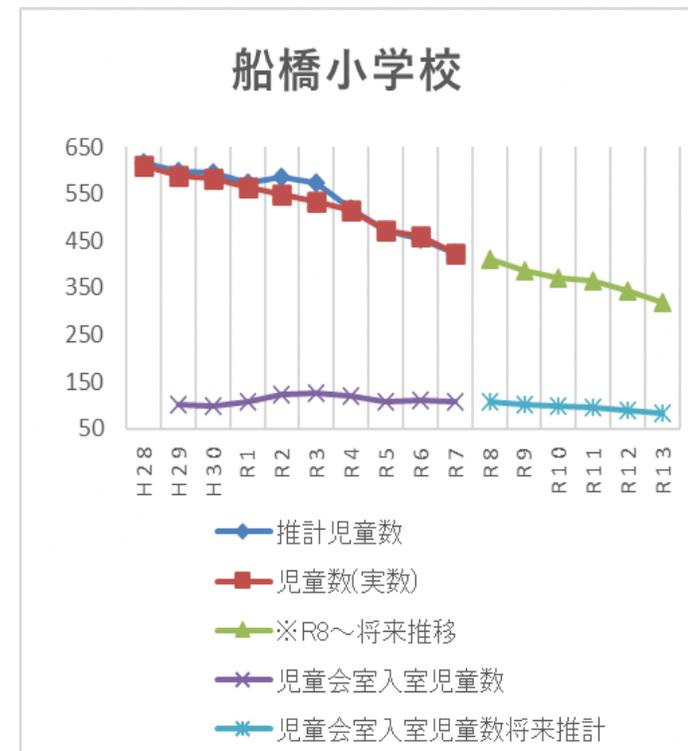
入室率の推移

H29:16.9%→R7:24.8% ↗

建物外観



児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
昭和58年 3 月	42年	鉄骨造	100人/ 77人	156.58m ² / 128.07m ²	1.66m ² / 1.65m ²	2 班	活用不可

建物評価
全般的に劣化有

方向性
施設の老朽化及び今後過密化が予測されるため増築が必要

入室率の推移

H29:17.6%→R7:21.6% ↗

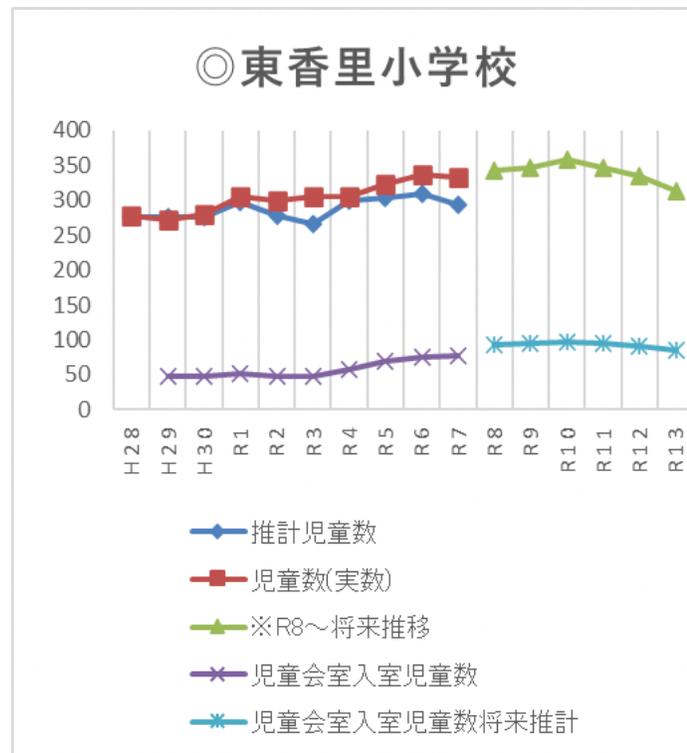
建物外観



整備の必要性

教室返還と施設の老朽化が進行しており、今後の入室児童数増加も続くことから、建て替え・増築による対応が必要

児童数等推移



開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/ 国基準	班体制	小学校教室の活用
①昭和58年9月 ②平成20年3月	①41年 ②17年	①鉄骨造 ②鉄骨造	150人/ 143人	310.72m ² / 210.25m ²	1.47m ² / /1.65m ²	3班	活用可能

建物評価
全般的に劣化有

方向性
児童数の推移を注視し、
小学校の余裕教室の活用を検討

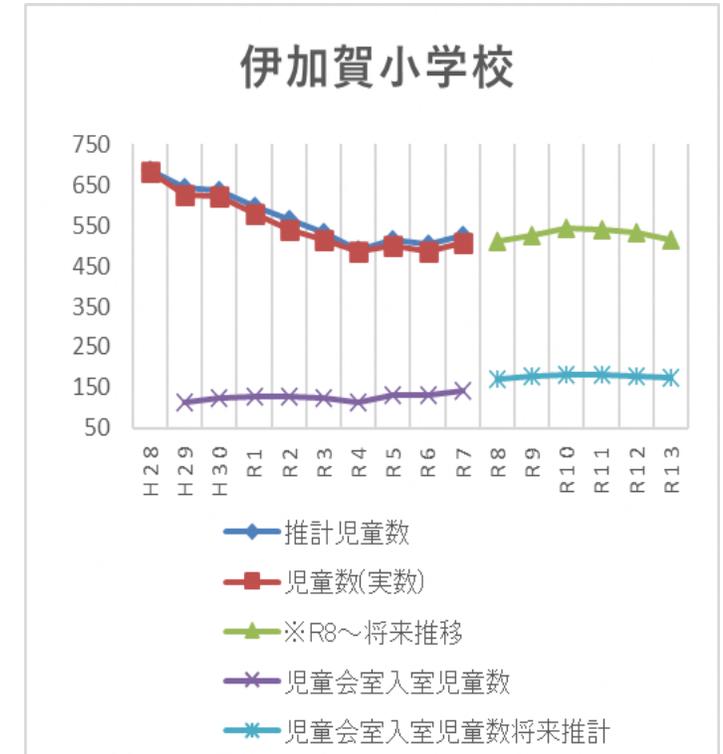
入室率の推移

H29:18.2%→R7:27.6% ↗

建物外観



児童数等推移



西長尾留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 教室 1 室 公設民営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成13年 3 月	24年	軽量 鉄骨造	100人/ 96人	219.12m ² / 186.81m ²	1.95m ² / 1.65m ²	2 班	活用可能

建物
評価

全般的に劣化有

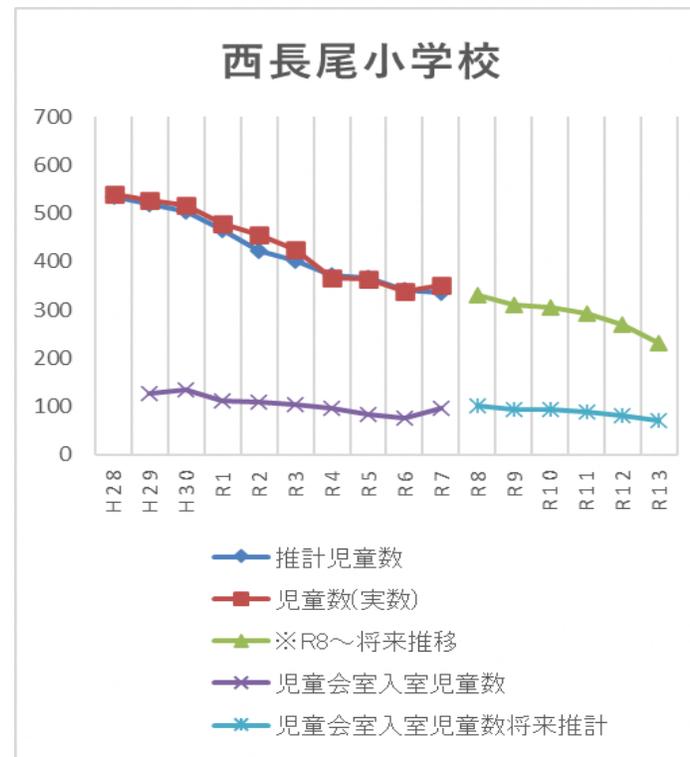
方向
性

将来的には小学校の余
裕教室での運営を検討
していく

建物外観



児童数等推移



入室率の推移

H29:24.1%→R7:26.7% ↗

禁野留守家庭児童会室

専用棟 1 棟 教室 2 室 公設公営

開設年月日	築年数	建物構造	定員/ 入室児童数	延床面積/基準上の面積 (廊下、トイレを除いた)	1人当たり面積/国基準	班体制	小学校教室の活用
平成 7 年 2 月 ※旧中宮北留守家庭 児童会室の開設日	30年	軽量 鉄骨造	150人/ 136人	245.45m ² / 203.94m ²	1.5m ² /1.65m ²	3 班	活用可能

建物評価 —

方向性 令和 8 年度新校舎へ
移転

入室率の推移

R7:31.2%
※中宮と中宮北が統合したためH29の記録なし

建物外観



※建物は旧中宮北留守家庭児童会室

児童数等推移

